



能登半島の地震災害で思うこと

能登半島の地震から1か月半が経とうとしていますが、家を失い避難している方々の様子などが毎日のようにテレビに出ています。学校が避難所になっていたため、ようやく先月下旬に学校が再開されたところもあるそうです。再開したとはいえ、断水のため給食ができず午前の授業しかできないなど、まだまだ大きな影響があるようです。三重県は主に輪島市の支援に入ることになっており、県内の教員などからなる災害時学校支援チームが毎週3名ずつ被災地に入っています。本校からは被災地に向かう教職員はいませんが、本校の教職員も先月募金を行い、日赤を通じて送ったところです。

ところで、このような災害があるたびに備えの大切さを感じます。先日、伊勢市の危機管理課の防災アドバイザーの山口さんと防災マネージャーの阿部さんが本校を訪れ、防災についての懇談をしました。今年度は、1年生において避難所運営ゲーム（HUG）を中心に、危機管理課のお2人や御菌まちづくり協議会の会長さんにも関わっていただき防災学習をしました。今後も年間のカリキュラムの中に防災学習を取り入れていくことが必要だということで意見が一致したところです。

伊勢市は中央構造線という大昔にできた大断層の上にあります。活断層があるかどうかは定かではありませんが、地震や津波への備えを常に考えておく必要があります。御菌地区も、宮川の氾濫や地震後の津波などで被害が想定される地域がほとんどです。学校では防災学習をこれからも継続して行っていく予定ですが、ご家庭でも防災マップなどを参考にして日頃からの備えをお願いしたいと思います。



書道コンクール入賞

書道のコンクールで入賞者がありましたので紹介します。おめでとうございます。

第44回三重県小中学校書初め展

(特別賞作品は、2月14日まで三重県教育文化会館で展示されます。)

三重県教育文化会館理事長賞 2年 古川 紗妃
3年 藤川 美海

第61回 J A 共済三重県小中学生書道コンクール (学校賞もいただきました。)

銀賞 (三重県教育委員会賞) 3年 藤川 美海
銅賞 (J A 共済連三重本部長賞) 2年 古川 紗妃

あいさつ運動について

2月7日(水)に今年度最後のあいさつ運動を行いました。御菌まちづくり協議会の方々には毎回来ていただいて生徒会本部や総務委員会の生徒たちと共に取り組んできました。気持ちの良いあいさつができる人が多くなってきたように思いますが、まだ自ら進んであいさつをするのは難しい生徒たちもいます。あいさつ運動は、小学校でも行っており、継続した取り組みです。より一層定着していけるよう今後も続けていきたいと考えています。



学年末テストは1年間の集大成

2月14日(水)から1,2年生の学年末テストを行います。今年度の最後のテストとなりますからしっかりと取り組んでもらいたいと思います。ワークなどの提出物を早く仕上げたことはもちろん大切です。ただ、その中にはテストに出るような問題があるわけですからワークで解けなかった問題があればチェックをしておき、できるまで復習をするなどの余裕も欲しいものです。また、良い点を取る人は、どのような問題が出るかを予想することが上手な人が多いように思います。授業の中で先生が強調したところや「ここが大切です」と言っていたところに線を引いたりして、後からでもわかるようにすることも必要でしょう。授業でも先生の言葉をしっかり聞いて、大事なポイントをつかんでいきましょう。

2年生の進路説明会・修学旅行説明会を開催します

2月26日(月)に2年生の生徒と保護者の方を対象に進路説明会と修学旅行説明会を実施します。入試制度の基本的な所は変わっていませんが、Web出願など手続きが近年大きく変わってきています。入学願書を「書く」と言うより「入力する」といった方が合っている感じがです。少子化の影響もあり入学の定員や難易度も、年ごとに変わります。たとえば、今年度は「鳥羽高校」の定員が80名から40名になったため、久しぶりに定員を満たすことになりそうです。一方、伊勢高校や宇治山田高校は定員ギリギリか定員割れになるかもしれない状況です。また、しばらく前から私立高校の人気も高く、いわゆる「滑り止め」とはならない場合が多くなりました。少し前の高校入試についての認識が大きく変わってきています。一方、何か資格を身につけて高い賃金の仕事に就きたいということで大学への進学率も上がってきています。高校も資格を重視するところが多くなってきています。少子化が進み、昔よく言われた受験戦争というような状況ではないですが、高校が多様化して偏差値などでは選べないのが実情です。今回の進路説明会では、基本的な説明が中心となりますがこの説明会をきっかけに関心を持って進路を考えてもらえたらと思います。進路決定については、親子で目標を定め協力しながら取り組んでいただくことが必要です。保護者の方のご参加をぜひよろしくお願いいたします。